

お久しぶりです。中だるみで退屈していましたが、帰国日を少し早めて25日未明と決めてから急にあれもこれもと思いはじめました。

今日は失敗談や長期滞在中の心の揺れなどについて書いてみます。

一番大きな失敗は、すでにお話しましたが、すり被害にあってしまったことです。すりにかかわらず、大きな困難なことにぶつかった時は、とにかく落ち着くことです。おろおろしていても、異国の一人旅では、自分がしっかりするしかないのです。何しろ私はアメリカ一人旅中に、9、11テロに遭遇していますので、あれ以上のことはないと思っています。だから少しだけおろおろしましたが、すぐに立ち直り、処理行動が早かったので被害は最小限に留めたと思っています。

最近の失敗は、野生の猿が多く出没する観光地で、かけていた眼鏡を持ち去られてしまったことです。ガイドから注意されていましたが、度近眼なので、ちょっとくらいと思ってかけて、カメラレンズから覗いていた時のことでした。それはあまりにも一瞬のことで、観光客の驚きの声で気がついたくらいです。

とりあえず2個は携帯していたので、困りはしなかったものの、今回のバリ行きのために新しく作った眼鏡でした。

この2つの被害は、海外障害保険の携帯品付帯をつけておいたので、少しは保障されるそうです。

それにしても、海外から日本の関係会社や銀行に電話すると、言葉使いが丁寧すぎてイライラします。持参したドコモの海外対応携帯電話が故障したときは大変でした。私は現地で買った携帯で、安い回線を使っているのですが、それでも困ることは少ないけれど、ドコモしか持ってきていない人はどうしたらいいのやら？

銀行にいったっては、言葉使いが丁寧すぎることもあるけれど、上司に相談してからとか、こちらのイライラ度は倍増してしまいました。

その点、さすがに保険会社は、対応がなれていました。手短かに話すノウハウがあるように思いました。

失敗かどうかはわからないけど、長期滞在中で、アパート暮らしをしていると、どうしても台所器具を買うことになります。最初のアパートにはガス器具がなかったので、卓上コンロを買いました。物価が3分の1のバリですが、電気製品は輸入が多いせいが高いのです。日本と変わらないくらいです。それでもこんなものはそう変わらないと思って、比較的安い卓上コンロを買いました。それが、、、何と使用中に突然、カセットの接続部分から火が噴出したのです。膝が震えましたが、これこそおろおろしていたのでは大変なことになってしまいます。

結果、大事には至らなかったけれど、とにかく沈着冷静、的確な判断、行動が必要ということを再確認しました。

あとはあまり安物は買わないことです。日本ではないのですから。(自転車も3回で壊れた)

心の揺れは波のようにあります。自分が積極的になれた日は、どこの国の人とも会話を楽しみ、その日

は満足の中に過ぎていきます。しかしそうでない日は、ほとんど誰とも話すことがなく、つまらない一日になってしまいます。

そんな日が何日も続くと「何で私はここにいるのだろう」と考えてしまいます。3ヶ月もいれば、毎日が観光ではない。 そうしながらも自分で生活の変化をつけようと努力しています。運良く、今の住まいがあるサヌールには「バリ日本人会」があって、そこに図書館があるのです。日本にいた頃は、日常に追われストレスで読めなかった本を、食べるように読んでいます。学生時代に戻ったような感覚です。

絵が好きなくせに絵を描くセンスがまったくない私ですが、「もったいない」と思い、スケッチも始めました。

バリは何処にでも画材が転がっているのです。運良く、階下には「絵の先生だった」というオーストラリア人の青年が

住み始めました。私の積極性が表に出た日に「教えて」と言ってみようと思っています。

もともと文章を書くことは好きでした。「ビーチの木陰で小説を書く」ことが夢でもあったのです。バリは絵の材料に事欠かないように、小説の材料も転がっています。今はウブドで体験した不思議な出来事を小説にしたいと、少しずつ書き始めたところです。

家庭の事情と、私の心の揺れもあって、帰国日を5日ほど早めました。しかし何ということでしょう。その途端、腰痛、肩こりが復活してしまったのです。これには苦笑と驚きです。

私は「ないものねだり」「わがまま」「贅沢な悩み」の持ち主なのかもしれません。

ビーチでは家族が、恋人が、老夫婦が寄り添って楽しそうにしています。それらの姿が私の心の揺れを増幅させます。

早く帰国して、娘の家族や孫と触れ合いたいと思う心もあれば、日本社会の煩雑さから逃れて、好きなように暮らしたいという心があります。それらの心と折り合いをつけながら、きっと来年もまたバリに来るのだろうと思っている今日この頃です。